



安全だより

神奈川県安全赤十字奉仕団

平成 28 年 9 月 発行
第 110 号

◆平成28年度の上期活動

28年度の大きな課題は、2015ガイドラインの対応ではなかったでしょうか。安全奉仕団では、支部による2015ガイドラインの指導員伝達研修を踏まえて6月25日の勉強会で検討を行いました。検討した内容について下記に記述いたします。

①心肺蘇生法の実技の中で、協力者の要請について標準実技表では「上体を起こし大きな声で協力者を求める」とあります。検討の中で肘をついたまま上体を起こす。上半身を起こして両手で要請するなどの意見がありました。結果として「知っていれば安心です」の冊子にもあるように片方の手のひらを床について片手を上げて要請する方法が妥当ではないかとの意見になりました。

②新しい指導要領で観察の実技が少なくなり、デモが多くなりました。受講者の実技は脈の確認と呼吸の確認だけになりましたが、安全奉としては極力以前同様に受講者に実技を行ってもらうように努力することとしました。

委員長 赤澤精二

③新しい指導要領では、心肺蘇生法がうまくいかなかった場合の法的責任の質問があった場合に民法第698条「緊急事務管理」と刑法第37条「緊急避難」の規定で責任を問われない事を回答する。アメリカでは善意の第三者の行為は過失責任を問われない「善きサマリアン法」があります。日本にはこのような法律が無い。1994年に「交通事故現場における市民



2015 ガイドライン団勉強会より

による応急手当促進方策委員会」において検討されて上記の条文で善意の第三者の行為は法的責任を追及されないと解釈された。④今回のテキスト改訂により多くの部分で変更されていることから、テキストを比較し変更点について確認をしました。また、7月に入り基礎講習の検定問題が変更になりましたが、問6では「AEDは、心室細動という不整脈から心臓を正常な動きに戻す機器である」という記述があります。間違いではないと思いますが、テキストでは「心臓を正常な動きに戻すためには電気ショックが必要となります。」と記述されています。講習ではAEDの機能は心室細動を取り除く機器と伝えたりしていますので、今後、説明を加えることも必要となるように思えます。以上、2015ガイドラインの実施に際して変更点の実施以外にも指導に影響が多々あると思われるので、疑問があったり、指導に迷うようなことがありましたら、勉強会で検討したいと思えますので、役員にどんどん連絡してください。

他の事業につきましては、ドラゴンボートに始まり、例年どおり着実につつがなく進んでいきます。今年には団の表彰の施行年

としていますが、既に対象になる団員が数人いらっしゃると思われる状況が有りますので、今年度の末の結果を非常に楽しみにしています。多くの団員が事業に参加され表彰されるよう願っておりますので、よろしくお願いいたします。

◆ドラゴンボート会場

5月28日、29日、6月4日、5日の山下公園でのドラゴンボートレース会場の心肺蘇生とAED体験ブースに、最初の3日間参加させていただきました。今年1、3日目は天候に恵まれ各日180、280人の体験者をお迎えできました。特に印象に残っておりますのは、マンシオン



準備 OK !!

管理業務を長年なさってきた方が、気になっていた CPR と AED を初めて体を動かして体験できてよかったとおっしゃって下さったことや、ラブラブのお若いカップルさんが温かく協力して救命手当を体験する様子などです。「人間を救うのは人間だ」の原点を見た想いが致します。参加団員延べ 39 名で、1、3 日目ご一緒下さいました皆さまありがとうございます。自分不参加でした 4 日目、あいにくの雨で短縮となったと伺いました。機材を撤収下さった皆さまに感謝いたします。ブースにお立ち寄りくださった団員の方々の中には初めてお目にかかれた方もあり幸いでした。お久しぶりにお目にかかった方々と以前ご一緒した活動や親睦でのことも楽しく思い出されました。今年のお出来事も将来思い出されたく、またの機会にもご一緒したいと存じます。



はい、チーズ！！

◆救急法基礎・養成に参加した受講者の方より感想を頂きましたので、紹介いたします。



受講生と一緒に

赤十字の救急法の講習を 3 日間受けて最初は単位が欲しいという理由で受けたのですが、初日受けてみて自分も力になれることがあるって分かって真剣に受けてみたら楽しいと思うようになって単位とか関係なく資格が欲しいと思います！ 2 日目は午前中の学科で少しうとうとしてしまっただけをちゃんと聞いてない部分もあったのですが家に帰って教本をもう一回見て復習をして 3 日目に臨みました。3 日目は実技が中心で午前中に午後の検定に向けて練習をしました。

昨日からどんどん上手くなるねと声をかけてもらって、もつともつとやる気が出ました！ 分からないところを優しく教えてくれたので覚えやすかったです。総合実技で担架で運ばれた時、運ばれる人の気持ちが分かってよかったです。初日は少し遅れてしまっただけ、3 日間良い経験ができました。ありがとうございます！

◆指導員の方の感想も紹介します。

・新ガイドラインになってから、初めての講習会：私が一番勉強になりました。
・今回の講習の間に、自分が救急法基礎養成を初めて受けた時が思い返されました。
その時の講習では最後に受講者が受講の動機や感想を述べ合う時間がありました。あの時そういう時間があったのは意義深かったと思います。
・安全奉の講習は和やかで支部の評価も高いので、これからは巷の評価も高くなると思います。

・指導員として参加しているもの自分が受講生に気づかされることも多く、テキストの説明でもテキストの内容の重要なエッセンスを説明しておらず、テキストの棒読みに近い、デモを

行う場合も生徒に見せたい部分を強調して見せるテクニクだったり足りないなと思いきらされます。年 1、2 回の指導ではなかなか指導が上達しないので、年 4 回を目標として行こうと思う次第です。

◆防災フェア

防災フェアの休憩時間に展示ブースを廻っていたところ、即売会場にてローリングストックという事を提唱しておりました。ローリングストックについて質問したところ、「普段食べている物や日用品を多めに備え、備えたものを順番に使いながら新しいものを買って足してゆく。食材であれば普段から食べられる缶詰やレトルト食品を備蓄し、普段から食べて食べた分を買い足して備蓄するといったスタイル」とのことです。
ブース内を色々試食してみ、アキモトの PANCAN と尾西のごはんシリーズを購入しました。
PANCAN は 3 年間保管してもやわらかさと美味しさを持続がキャッチフレーズでした。

試食してみて。パサパサしておらず飲み物が無くともパンだけで美味しくいただけました。オレンジ、ストロベリー、ブルーベリーの3缶を購入。

西尾のごはんシリーズは、5年保管が可能で。パッケージを開け、熱湯または水を入れてチャックを閉めて待てば2人前のご飯が出来上がるというものです。

熱湯なら15分、水(15度)なら60分で出来上がります。種類は、五目ごはん、わかめごはん、ドライカレー、チキンライス、白米があり、ドライカレー、チキンライス、五目ごはんの3種類を購入。

あと、購入はしなかったものの心を動かされた缶詰が、ベターホームかあさんの味です。

種類は10種類で、かぼちやいとこ煮、ごもく豆、うの花炒り、まめ昆布、ひじき、切り干し大根、たけのこかか煮、ひじき、きんぴらごぼう、むらさきはな豆、

さといもいか風味とあり、普段から緊急食のおかずとして食することもでき3年保管可能といった点が心に響きました。

羊羹なども賞味期限が長く保管に適していることが本フェアで判ったので、とらやの小形羊羹をストックするよい口実が出来ました。

さて、私が参加した日曜日の赤十字の心肺蘇生とAEDの使用法

の普及活動は、例年に比べて台風の影響で曇りから雨の天候であったことから最高気温24度と涼しく、体験コーナーは盛況で、体験待ちの列ができるほど、ほぼフル稼働の状況でした。

ここで次の疑問が生じました。①待ち行列を少なくするため説明は必要最低限とし1分程度で説明を終え実際に触れる部分に時間を割り振り1人当たり5分程度で終わらせ多くの人と触れ合うことで赤十字の理解者を増やす。

②心肺蘇生が求められている理由から心室細動、心停止となつた心臓はAEDだけでは助けられないとできないといった丁寧に説明することで赤十字の活動の理解者を増やす。

どちらか一長一短があり、答えが出せない、人それぞれのやり方で理解者を増やしてゆけばよいと勝手に納得。

今回の体験参加者の内訳は次のとおりです。

8月27日(土) 気温28度
成人51名(見学18名)、幼児27名(見学13名)、乳児12名(見学2名)

8月28日(日) 気温24度
成人94名(見学43名)、幼児88名(見学19名)、乳児26名(見学9名)でした。

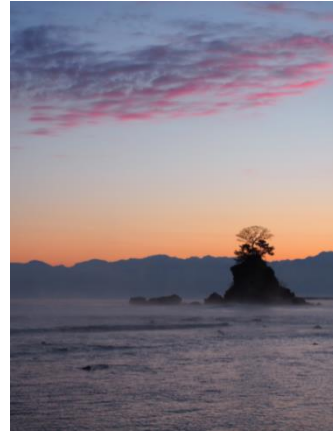
◆一人旅鉄

「果たしてどうしたものか・・・」唐突で恐縮だが、実は趣味について、安全だよりに寄稿することになったのである。断っておくが、無趣味が故、悩んでいる訳ではない。私には一人旅という歴(れっき)とした？趣味がある。一人旅について語らせていただければ、旅先で出会った人々のこと、風景のこと、美味(うま)い物のこと等々、単行本が一冊書けるぐらいのネタはあるかと思う。それ故の悩みなのである。皆さんは、一人旅と聞いて、どのような旅を思い浮かべるであろうか。私の旅は、いわゆる「旅鉄(たびてつ)」と言われるジャンルに属する。



JR 予土線 鉄道ホビートレイン

生来(せいらい)、空を飛ぶ金属の塊(かたまり)なる乗り物を畏怖敬遠(いふけいせん)している私にとって、勢い旅は、二本のレールの上を鉄車輪で走行する列車に乗ってのスタイルが中心となる。振り返れば、体内に鉄分を貯め込み始めたのは以外に遅く、五十路の声を聞く少し前の頃であった。以来、私を一人前の一人旅鉄に育ててくれたのは、大人の休日倶楽部パスであり、青春18きっぷである。この「おときゆうパス」は、吉永小百合様が「大人になったらしいこと」とTVコマーシャルをしているのでご存知の方も多いと思う。詳細については、是非ググっていただきたい。おときゆうパスは、JR東日本管内(一部パスはJR北海道を含む)にのみ有効な新幹線も利用できる乗り放題きっぷであり、主に北国への旅に、ご存知、JR全線で普通・快速電車に一日乗り放題となる青春18きっぷは、主に西国への旅に利用している。最高時速320キロ



雨晴海岸(富山湾ごしの立山連峰)



スーパーこまち、はやぶさ

で疾走する「はやぶさ」や「スーパーこまち」など、洗練されたスタイルの新幹線での旅は、また格別である。しかし、その土地土地の空気に直（じか）に触れることができる各駅停車の旅も「また楽しからずや」なのである。

一人旅故、巡（めぐ）り会った方々と会話をするのがとても楽しい。かつて会津を旅した折り、私が卒業した小学校の教師であったという方と出逢った。これも何かの縁（えにし）と、しばし道行（みちゆき）を共にした。

一人旅には思いも寄らない出会いが待っているのである。窮屈なスーツを脱ぎ捨て、非日常的な環境を求め「知らない町を旅する。」一度限りの人生、出来れば多くの出会いに心を響かせたいものである。旅は人生、人生もまた旅。これからも体が続く限りは、この趣味から足を洗うことは出来そうにあるまい。

企画部だより

「いつもここに安心を」について
本年度からは、県支部の指示により受講者数に応じた指導員での対応となるため、人数を調整させていただくことがあります。ご理解ご協力お願い申し上げます。
尚、各講習の初回参加の方は、優先的にご案内させていただきます。

企画部長
企画部

救急法競技会審判説明会

12月18日 9:00~12:00
12月25日 9:00~12:00
に決まりましたので、お知らせ致します。

平成28年度奉仕団役員等研修会

日時：10月8日（土）13:00~16:00
会場：神奈川県支部会議室1,2,3
内容：講演「東日本大震災から5年・・・」など
申込：委員長にメール又は電話で10月1日まで
※委員長メールアドレス：red.sawa@jcom.home.ne.jp

お知らせ

・2017年赤十字手帳、赤十字カレンダーの販売について、購入を希望される方は、日赤サービスホームページよりFAX送信票をダウンロードし、直接日赤サービスにFAXでお申込み下さい。

・安全奉仕団納会の日時が決定いたしました。今年度はビンゴ大会を行う予定です。豪華景品も！（マチュピチュ、USJ等のお土産含む）皆様の参加をお待ちしております。

日時：12月3日 18時30分

場所：中華街鳳琳

住所：横浜市中区山下町187

会費：5000円

編集後記

安全だよりに4コマ漫画を載せたいと考えております。団員の方で、イラストの得意な方、ご協力頂ける方は広報部までご連絡下さい。

発行責任者 赤澤精二

広報部長

広報部